

令和元年度健全化判断比率

○実質赤字比率（早期健全化基準:14.72%）	-
連結実質赤字比率（早期健全化基準:19.72%）	-
実質収支額が黒字のため、該当無し	
○実質公債費比率（早期健全化基準:25.0%）	9.3%
一般財源に対する地方債の元利償還額比率	
○将来負担比率（早期健全化基準:350%）	83.0%
将来支払可能性がある負担等の残高割合	

令和元年度資金不足比率

水道事業及び下水道事業等の特別会計において、決算額が全て黒字であり資金不足額はなく、比率はゼロである

監査委員の決算審査意見（抜粋）

令和元年度の一般会計及び特別会計の総額は、歳入 141 億 7,393 万円、歳出 135 億 9,926 万円で、差引(形式収支)5 億 7,467 万円の黒字となっている。当年度実質収支は、5 億 6,714 万円の黒字、単年度収支は、1 億 80 万円の赤字となる。

一層の厳しい財政状況が予測されるが、町税収入は自主財源の基幹をなすものである。納税しやすい環境づくりを推進すると共に、「負担の公平の達成」に向け滞納整理及び徴収業務について、実効を高めるよう不断の努力を期待したい。

一般会計の歳入総額では 17 億 6,700 万円の減、歳出総額では 16 億 3,000 万円の減となっている。主な要因として、歳入ではふるさと納税、歳出では片山保育園と南部リサイクルセンターの完了があげられる。近年の大口公共案件が一段落した状況を示し、収支としてはバランスのとれたものと思慮している。

町財政運営についての意見・提言として、教育・経済・生活面のすべてにおいて大きな変革を余儀なくされている。予算は平常時を前提として組み立てられているため、非常時資金への対応余力を包含するまでには至っていない。事業仕分けによる望ましい財政への探求が必要ではないか。

令和2年度池田町一般会計・特別会計の補正予算

	補正額	補正後総額
一般会計補正予算（第4号）	5億5,096万8千円を追加	124億6,564万4千円
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	1億9,007万8千円を追加	25億5,007万8千円
後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	72万5千円を追加	3億 572万5千円
公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	754万4千円を追加	11億9,654万4千円
温泉施設特別会計補正予算（第2号）	1,120万8千円を追加	2億9,128万7千円

臨時議会報告

	補正額	補正後総額
第2回臨時会（2020年7月27日議会）		
○令和2年度一般会計補正予算（第3号）	2億4,915万4千円を追加	119億1,467万6千円
○令和2年度温泉施設特別会計補正予算（第1号）	207万9千円を追加	2億8,007万9千円
○令和2年度水道事業会計補正予算（第1号）	営業収益で2,720万3千円の減額 営業外収益で2,720万2千円の追加	

第3回臨時会（2020年8月21日議会）

○売買契約の締結		
GIGAスクール構想の1人1台のタブレット整備のため、小学校4校で1,282台、中学校で736台の合計で2,018台を購入、マイクロソフト365ライセンスを51本整備		
契約者	株式会社 エフワン	契約金額（税込） 9,020万円